

Q70. 透析中に心拍数が増える様になり、その後は日常生活でも感じるようになりました。何か原因があるのでしょうか。

A.

透析患者さんでは、高血圧、糖尿病を合併する頻度が高く、心肥大、心不全、冠動脈疾患を合併している事が多く、この様な背景が不整脈発生の誘因となります。また、透析時には、電解質や pH の変化が起こり、また、水引きによって血圧低下をまねき、心筋細胞が刺激されて、様々な不整脈を引き起こす引きがねとなります。

透析中であれば、すぐ心電図をとる事によって、不整脈の種類を特定できますが、それ以外の時に起きてくる不整脈については、24 時間の心電図モニターをとって、その種類を明らかにして、各々に合わせた治療をしなければなりません。多くは、投薬によって治療、予防が可能です。不整脈の種類や頻度によっては、電極カテーテルを使用したり、植え込み型の除細動器を使用することを考慮しなければなりません。

もちろん、血圧のコントロールや冠動脈疾患等の心臓の病気に対する精査治療が必要であることは言うまでもありません。

医師